

BYD

日本国内 自動車解体事業者様向け
起動用バッテリー取り外しマニュアル
(12V リチウムイオンバッテリー)



BYD SEALION7

2025 年 9 月
BYD Auto Japan 株式会社

目次

起動バッテリーについて	3
概要	3
機能	3
リチウムイオンバッテリーについて	4
絶縁処理	6
リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・引き渡し荷姿の指定	7
取り外し手順	8
ユニット位置図	8
起動バッテリーの取り外し	9
助手席シート ASSY の取り外し	12
低電圧システムのパワーOFF	15

起動バッテリーについて

⚠️ 警告 :

- 起動バッテリーの負極（-）側ワイヤーハーネスが、正極（+）側端子に接触しないよう注意してください。
- バッテリーに裸火や高温物を近づけないでください。
- 起動バッテリーを無断で改造したり、外付け充電器を使用して起動バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーの残量が低くスリープモードに入った場合は、運転席側ドアハンドルのマイクロスイッチを押す、またはモータールーム内のジャンピングスター用の端子を使用して車両を起動し、DC 電源を ON にして約 15 分間充電してください。
- バッテリーへ引火物・爆発物を近づけないでください。
- バッテリーにお子様を近づけさせないでください。

概要

起動バッテリーは、自動車全体の電子機器の低電圧の電力源です。車両全体の低電圧システムが正常作動することを保証するため、起動バッテリーの充電が不足しないことが必要です。従来の設計にスマート充電システムを追加し、車両を長時間駐車する場合は、起動バッテリーの-端子を外す必要はありません。また、バッテリー検出器で起動バッテリーの電圧が低すぎることを検出すると、パワーバッテリーを使用して起動バッテリーを充電し、充電が不足しないようにすることができます。

電池とは、起動バッテリーとバッテリーマネージャー(BMS)の略称です。

機能

電気システムの場合は、過放電保護に入る前や超低消費電力条件下のときに、起動バッテリーが電気機器の電源となります。DC-DC 出力が不足している場合は、起動バッテリーにより電力機器への電力供給を補助します。

起動バッテリーは、回路内の瞬間的な過電圧を吸収することで、電気システムの電圧の安定性を維持し、電子部品を保護することができます。

起動バッテリーには、電圧、電流、温度の監視機能があり、異常が発生すると故障警報機能が作動します。起動バッテリーが故障して警報機能が作動すると、メーターの故障警告灯が点灯(常時点灯)し、「起動バッテリーを確認してください」と表示されます。

スマート充電の条件を満たすため、起動バッテリーの電圧が低い場合は、電源システムは起動バッテリーを補充して電力不足を防ぎます。

リチウムイオンバッテリーについて

外観写真



リチウムイオンバッテリーの見分け方



[i] 注意：

- ラベルのデザインは異なる場合がございます。

絶縁処理

感電防止のため、起動用バッテリーの端子部を絶縁キャップまたは絶縁テープで覆い、絶縁処理を行ってください。

絶縁キャップで絶縁した場合



絶縁テープで絶縁した場合



BYDは、当社製リチウムイオンバッテリーの転売、譲渡等による専用車両以外への起動用バッテリーの使用や、分解、改造による事故・損害等について、一切の責任を負いかねます。

取り外しに関する技術的なお問い合わせ先

BYDカスタマーセンター

TEL:0120-807-551(フリーダイヤル)

フリーダイヤル受付時間:

平日・土日祝 9:00~18:00

(GW/夏季休業/年末年始休業を除く)

リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・引き渡し荷姿の指定

LiB は裸の状態とし、解体事業者様にて運搬会社が持参する段ボールに格納し、ドライバーへ引き渡してください。

回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。

<LiB 回收受付窓口>

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構(自再協)の引取依頼システムより回収を依頼してください。

リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム:

<https://www.lib-jarp.org/>

<LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ>

自動車再資源化協力機構(自再協) 一JARP一

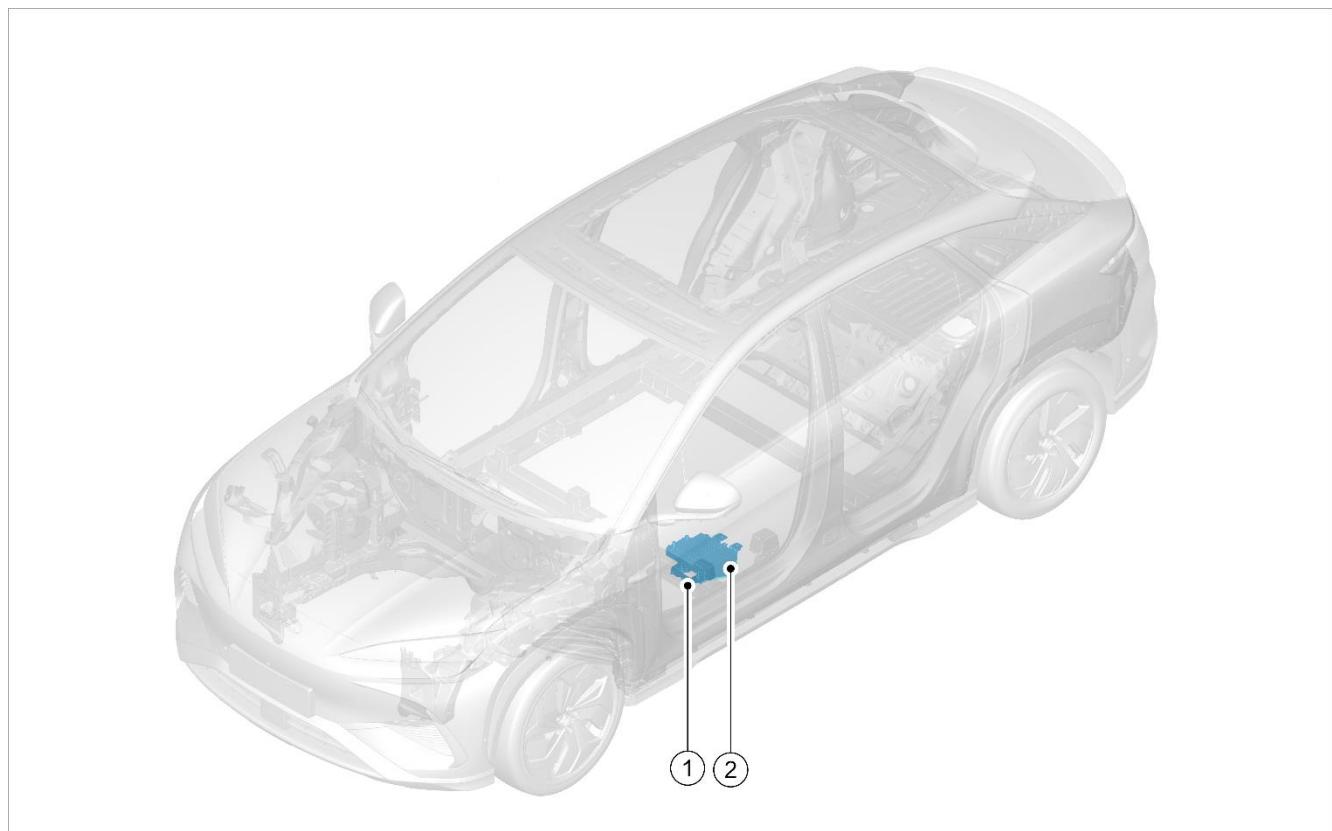
info-libsystem@jarp.org

問い合わせ先:0570-000-994

【平日 9:00～17:00(年末年始及び土日祝祭日を除く)】

取り外し手順

ユニット位置図



100-00-033

番号	名称
1	バッテリーブラケット
2	起動バッテリー

起動バッテリーの取り外し

⚠ 警告 :

- 起動バッテリーを取り外す際は、必ず負極(−)端子を先に外し、その後正極(+)端子を外してください。
- バッテリーのショートを引き起こし、最悪の場合はバッテリーの爆発を引き起こすおそれがあるため、取り外し工具（または他の金属物）を起動バッテリーの正極(+)と負極(−)端子に同時に触れさせないでください。

ⓘ お知らせ :

- 起動バッテリーは運転席シートの下に配置されています。

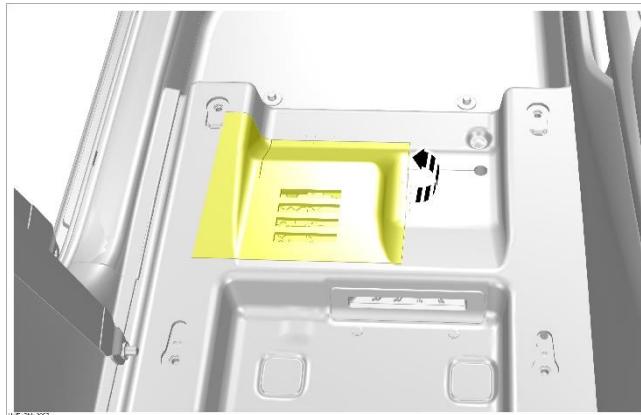
必要なメンテナンスツールと機器

- トルクレンチ(5–50 N · m)
1. 助手席シート ASSY を取り外します。助手席シート ASSY の取り外しを参照してください。

ⓘ お知らせ :

- 助手席シート ASSY を一番後ろに下げて作業し、取り外す必要はありません。

2. カーペットアクセスホールカバーを「矢印」の方向に開きます。



3. バッテリー正極(+)側接続ハーネスを切り離します。

[i] 注意 :

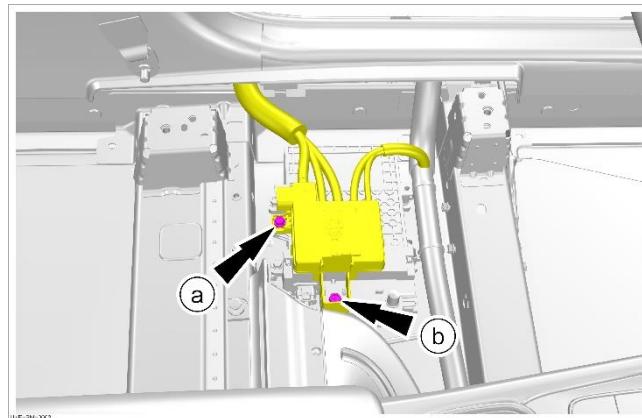
- バッテリーの負極(−)端子を外した後は、車両の他の金属部との接触によるショートの危険を防ぐため、バッテリーの負極(−)端子を絶縁処理してください。

(a) 固定ボルト 1 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 9 N・m

(b) 正極側の保護カバーを開けて固定ボルト 1 本を取り外し、起動バッテリーから正極のワイヤーハーネスを外してワイヤーハーネスを横にずらします。

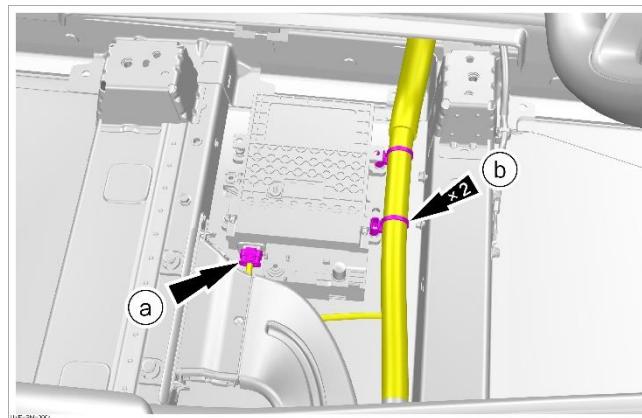
- 締め付けトルク: 13 N・m



4. フロアワイヤーハーネスを抜き出します。

(a) 起動バッテリーのコネクタ 1 個を切り離します。

(b) ワイヤーハーネス固定クリップ 2 個を抜き出し、フロアワイヤーハーネスを横にずらします。



5. 起動バッテリーを取り外します。

[i] 注意 :

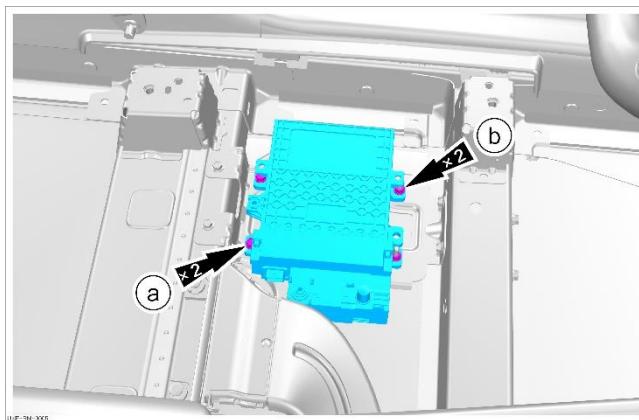
- 起動バッテリーをぶつける、落とす、衝突を与える、逆さにすることはやめてください。

(a) 固定ボルト 2 本を取り外します。

- 締め付けトルク : 10 N・m

(b) 固定ナット 4 個を取り外し、起動バッテリーを外します。

- 締め付けトルク : 10 N・m



助手席シート ASSY の取り外し

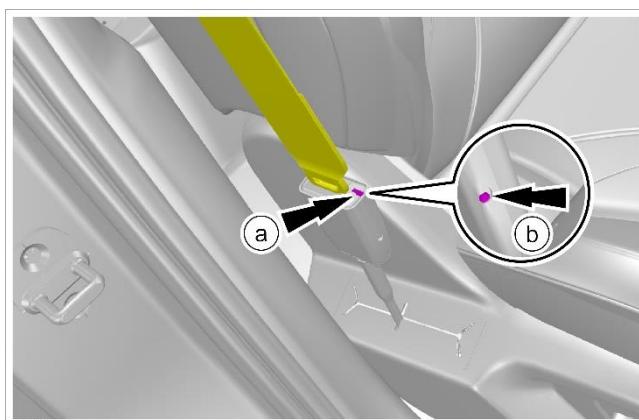
[i] 注意 :

- 左右のフロントシートの取り外し方法は同じため、運転席を例に説明します。

1. フロントシートベルトのロアジョイントを外します。

(a) 適切な工具を差し込み、ロック解除装置を押し当てて保持します。

(b) 適切な工具を差し込み、ロック解除装置を押し当てて右フロントシートベルトの下部ジョイントを外します。

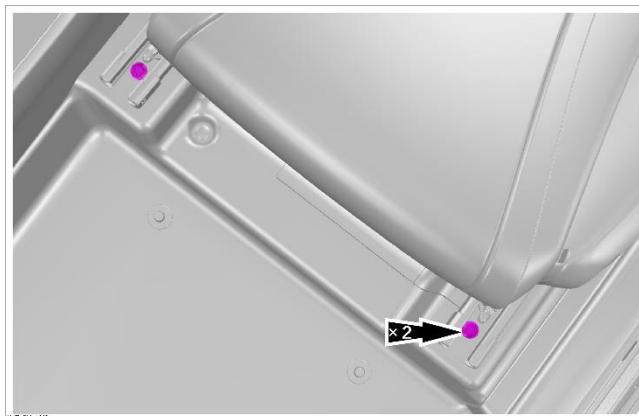


2. シートを最後部に移動します。



3. 運転席シート ASSY 前部の固定ボルト 2 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 45 N・m

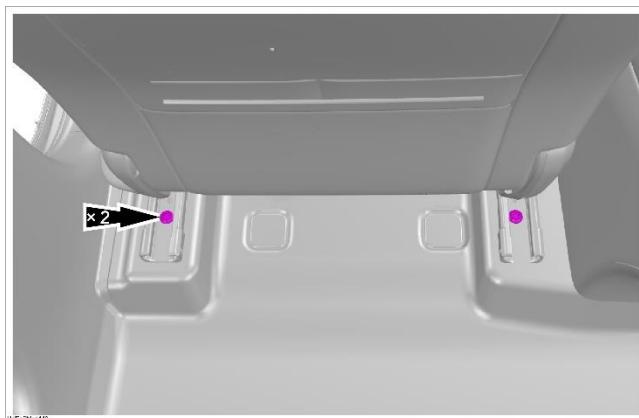


4. シート ASSY を最前部に移動します。



5. 運転席シート ASSY 後部の固定ボルト 2 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 45N·m



6. 低電圧システムをパワーOFF します。低電圧システムのパワーOFF を参照してください。

7. 運転席シート ASSY を取り外します。

⚠ 警告 :

爆発性部品を誤って作動させると負傷するおそれがあります。

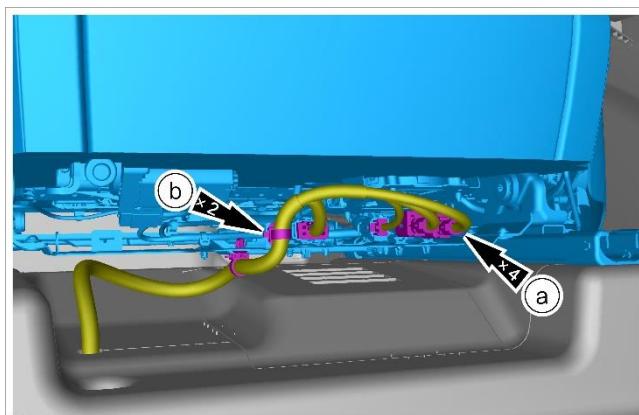
- 操作前に、ドアハンドルを軽く触れて静電気を放電させてください。
- 取り外したエアバッグモジュールは、クッション面を上にして置いてください。

ⓘ 注意 :

- シート ASSY を取り出す場合は、複数人で作業してください。
- 損傷するおそれがあるため、車両からシート ASSY を取り出したり運搬したりする場合は、部品（シートベルトバックル、シート調整機構、シートカバーなど）を掴まないでください。
- ボディーやトリムを傷付けないように、慎重に操作してください。

(a) シート ASSY のコネクタ 4 個を切り離し、静電気防止の対処をします。

(b) ワイヤーハーネスクリップ 2 個を抜き出し、運転席シート ASSY を取り出します。



低電圧システムのパワーOFF

⚠️ 警告 :

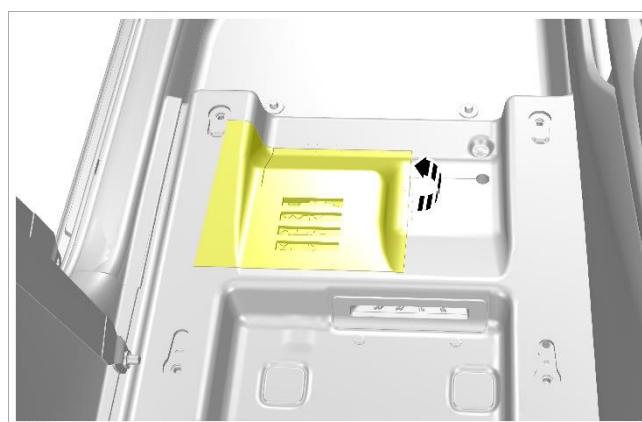
- 低電圧システムをパワーOFFする場合：操作手順に別途説明がある場合を除き、すべての電気システム部品のメンテナンスを行う前には、下記の要求事項に従い低電圧システムの電源をOFFにし、メンテナンス完了後は低電圧システムの電源をONにしてください。
- 工具または設備がバッテリーの端子およびケーブル継手に当たりやすい場合も、低電圧システムの電源をOFFにしてください。
- 静電気の発生を避けるため、バッテリーを拭く際には絶対乾いた布を使用してください。
- これらの注意事項が守られていない場合、人体に危害を与えたり車両が破損したりするおそれがあります。

ⓘ お知らせ :

- 起動バッテリーは運転席シートの下に配置されています。
- 取り外す前に、シートを一番後ろの位置、シートクッションを最も高い位置に調整して、取り外しやすくしてください。

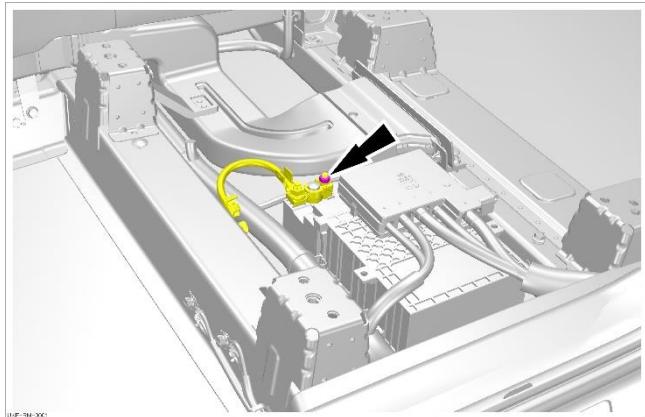
必要なメンテナントールと機器

- トルクレンチ(5–50 N·m)
1. 車両のすべての電気機器の電源を切り、車両の電源ポジションを「OFF」にします。
 2. カーペットアクセホールカバーを「矢印」の方向に開きます。



3. 固定ナット1個を緩め、バッテリー負極（-）側ワイヤーハーネスを起動バッテリーから外します。

- 締付けトルク: 10 N·m



[i] 注意:

- バッテリーの切断と再接続は慎重に行ってください。
- 車両の他の金属部との接触による危険を防ぐため、負極（-）側ケーブル継手を抜き出した後は、バッテリーの負極（-）端子に絶縁キャップなどを付けてください。